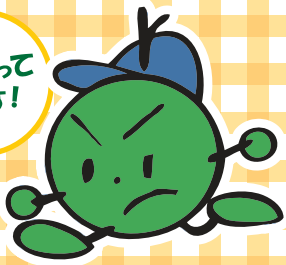


がんばって
います!



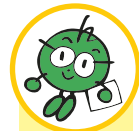
こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

こどもエコクラブなばり

(名張市)

- ・メンバー数 3名
- ・サポーター数 2名
- ・クラブの構成 家族・友達
- ・代表サポーターの谷本さんに聞きました



いつどのよう
にできたのですか?

上の孫が『こどもエコクラブ』のメンバー対象年齢に達したのが第一の理由です。また自治会のお世話をしていたので、地元のごどもたちにも環境について考える場が必要だと感じたのが第二の理由です。

以前から環境問題には関心を持って取り組んできました。赤目四十八滝、谷保勝会と三重県環境学習情報センターがインタープリター養成講座を開催されましたので参加し、一緒に研修した皆さんと地域、特に赤目を中心に活動しています。そのなかでもごどもを中心と考えていく必要を感じ、並行して活動する場として『こどもエコクラブなばり』を発足しました。



どのような活動
をしていますか?

●赤目地域では
◇春の赤目里遊歩ツアー ◇赤目梅林
収穫体験 ◇蛍ツアー & 赤目滝ライト
アップ & キャンドルナイトなどです。

この活

動では、蛍の観察のほか、日本サンショウウオセンターを見学し、サンショウウオの夜の活発な活動を観察できました。また、今後も地元の釜石川での蛍の観察を継続して行いたいと思います。



赤目溪谷

●自然観察関係は

◇金環日食を見よう ◇七夕の集い ◇地神の大村神社と木津川上流 ◇テラウェアの収穫 ◇淀川の上流へ ◇ブドウ観察会(ふじみのり・紅ふじ) ◇ブドウでジャムづくり ◇秋の収穫(巨峰、ポップコーン、サツマイモ)などです。

秋の収穫では、収穫した巨峰を一般に売っているものと比べて観察し、粒の表面の様子や軸の色の違いなどにびっくりしました。



秋の収穫



どのようなこと
を子どもに伝えたいですか?

重複している部分が多いのですが、様々な活動を偏ることなく実施することが大切だと思っています。さらに今後は、化石関係に深く興味を示しているメンバーがいるので、伊賀市の服部川や鳥羽市などにも活動の場を広げていきたいと思っています。

単に見たり聞いたりするだけでなく、実際に触り・聴き…主体的に取り組む姿勢を身につけることが大切だと思っています。そして活動するなかで、少しでも自ら学ぶ姿勢を育むことができればうれしいと思います。



日本サンショウウオセンターを見学しました

こども エコクラブとは

- 入会費・登録費無料
- お問い合わせは環境学習情報センターまで

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。



こどもエコクラブ イメージキャラクター「エコまる」
<http://www.j-ecoclub.jp>